

中学生向け

読書体験を深める 読書推せん文ワークショップ 実践ガイド

対話と即興劇で深める 「立体的な推せん文」プログラム



博報堂教育財団では、子どもたちが自分のお気に入りの本の魅力を、おすすめしたい人に向けて自分の言葉で紹介する「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」を開催しています。

2026年からは、コンクールの団体賞に入賞した学校・団体を対象に、読書の楽しさをより深めてもらう「読書体験を深める 読書推せん文ワークショップ」を開催しています。本ガイドはこのワークショップを学校・団体でも実践していただくための指導者向け資料です。是非ご活用ください。

公益財団法人 博報堂教育財団

博報堂教育財団 常務理事 石寺修三



学習環境デザイナー 山内佑輔



TEL:0120-564-772 受付時間:9:00~17:00(土日祝・年末年始を除く)

※お問い合わせは学校ではなく、事務局へお願いいたします

ワークショップの進行

誰もが知っている昔話から教訓を読み取り、ペルソナカードを使って相手に響く教訓を考え、考えたことを発表し合います。



みんなで1つの絵を即興でつくる (10～20分)

3～4人のグループになり、配布した白紙に一人一筆ずつ線や点を描き足してキャラクターを生み出す。

そこに名前や年齢などの自由な設定を加え個性を作り上げていく。自由な発想を楽しむ雰囲気を作り、グループのつながりを深める。



『ももたろう』から教訓を探す (25分)

昔話を題材に、どのような教訓や価値を読み取ることができるのかをグループで考える。一つの物語に複数の教訓があることを体感し、各グループで抽出した教訓を整理し、多様な視点で物語を捉える力を育む。

『ももたろう』の教訓例：

仲間との信頼関係が大事 一歩踏み出す勇気が大切 強い相手にもひるまない など



書き込みを行うため、筆記用具、模造紙、ふせんなどを用意しましょう。

学習指導要領との関連

中学校学習指導要領(国語)では、言葉による見方・考え方を働かせ、文章や作品を多面的に解釈し、自分の考えを形成して適切に表現する力の育成を重視しています。

本ワークショップでは、『ももたろう』から導き出した教訓を整理し、ペルソナカードに示された相手に応じて伝え方を工夫する活動を行います。相手の立場や価値観を踏まえて表現を考えることで、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、対話を通して考えを深める主体的・対話的で深い学びにつながる内容となっています。



ペルソナカード(25分)

ペルソナカードを引き、カードに書かれた架空の中学生に起こりうる悩みや状況を各グループで把握。

そこに書かれた人の気持ちを理解し、どの教訓が最も響くのか・どの教訓を届けたいのかをグループで考え、伝えるためのストーリーを組み立てる。



「相手の状況」と「物語の教訓」を結び付けることで、相手に合わせた伝え方を考えることができる。さらに、自分やグループの仲間の経験を合わせるとより説得力が増す。

ペルソナカードの使い方のポイント

ペルソナカードは合計10枚あり、グループごとに異なるカードを使用。同じ『ももたろう』の教訓でも、ペルソナカードによって選ぶ教訓や伝え方は変わります。「この人は今、どんなことで困っているのか」「どんな言葉なら心に響くだろうか」と相手の立場を想像することが大切です。

※『ももたろう』を題材として扱っていますが、他タイトルでも汎用可能です。ただし、ワークの時間設定もあるので、誰もが知りうる昔話などが浸透しやすいと考えられます。



即興劇の発表(25～50分)

グループで考えたストーリーの発表を代表2名で行います。伝え方は即興劇やプレゼンテーションなどで実施。様々な方法でも、相手に伝わる表現に昇華させる。また、グループでの考えをまとめ、工夫を凝らして伝えるように共有していく。



発表したチームへ大きな拍手を送りあいましょう。

文章・作品の多面的解釈をしての理解、 思考形成と表現力育成のための ワークショップ実施後アンケート例

【生徒】

Q:相手に気持ちを伝えることや、言葉を選ぶことの「面白さ」や「難しさ」に気づきましたか？

- 似ている言葉でも、使い方によって意味が変わると思いました
- 他人の意見を取り入れることの重要さに気づけました
- 言葉選びはいままでずっと難しいものだと思っていたけど、今回、面白さにも気づくことができました

Q:ターゲット(相手)に響くものを届けるために、チームで苦労した点や工夫したところはどこでしたか？

- 本の中にたくさんの教訓があり、それを人に伝える難しさを感じました
- 短くとも心に残りやすくすることを心がけました
- どうやったら相手に気持ちを届けることができるのか、体験を交えながら伝えるのが苦労しました
- 色々な意見の中から、みんなで話し合って少し意見を絞るところを工夫しました

【教員】

Q:子どもたちの反応(興味関心・主体性・対話の様子など)をどう感じられましたか？

- 題材が馴染みのあるものだったこともあり、考えやすくほとんどの生徒が関心をもって取り組んでいたと思います。日頃から話し合いは活発な生徒たちでしたが、自分の意見をグループにしっかり伝える姿、友達の意見を受け止める姿、山内先生のお話を聴き、自分から学ぼうという姿勢を感じました

Q:今回の活動内容で、特に良かった点や、クラスの指導・今後の学習活動(国語や総合など)に活かせるような具体的なポイントがあれば教えてください

- これから進路に向けて作文を書いたり、面接を受けたりと表現の場に生かすことができると思いました。また、ワークショップの初めに行った動きのある時間は、その後の生徒の緊張を和らげ、活動を和やかな雰囲気にしていました。総合的な学習の時間などに取り入れてみたいと感じました

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME ミサキ

GRADE 中学3年生

PERSONALITY

新しいことに踏み出せないタイプ

やりたい気持ちはあるのに…
失敗して笑われるところばかり
想像しちゃう。

生徒会選挙に立候補したい気持ちはあるけど、「失敗したら恥ずかしい」と思って結局やめてしまう。
物静かで、聞かれたことには答えるけど自分から話すのは苦手。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME ハルト

GRADE 中学3年生

PERSONALITY

部活のエース・
一人で頑張りがちタイプ

頼んだ方が早いのは分かってる…。でも頼んで『できない』って思われるのが嫌なんだよね。

最近、部活ですっと自分一人で行なうのかしようとしていて、後輩に頼るのが苦手。
「自分でやった方が早い」と思っている。
ちょっと早口で、人の話を最後まで聞かずに結論を急ぐタイプ。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

ユイ

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

助けてもらったことを忘れがちタイプ

あれ、お礼言ったっけ…？
言おうと思った瞬間、別の話し
ちゃうんだよねあ。

友達に何度も助けてもらっているのに、お礼を言うタイミングを逃したり、当たり前だと思ってしまったりする。
悪気はないが、気づくと自分の話ばかりしてしまう。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

ダイキ

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

準備をナメがちタイプ

いつも『今度こそ前もってやる』って思うんだけど、気づいたら前日なんだよね…
なんでだろ。

テストも発表も「前日になればなんとかなる」と思っていて、
実際それで何度か痛い目にあっている。
明るくてノリはいいが、人の忠告を軽く受け流すクセがある。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

ナツキ

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

すぐ諦めがちタイプ

ちょっとやってダメだったら、もう無理ってことだよな…
続けても意味ないし。

新しいことを始めても、うまくいかないとすぐに「自分には向いてない」と思ってやめてしまう。
何事も最初の数回で見切りをつけるクセがある。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

レン

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

人を見た目や第一印象で判断しがちタイプ

結果出すためには、できる人に頼むのが一番でしょ。…って思ってたけど、最近ちょっと違うのかもって気もしてる。

グループ活動で、自分と違うタイプ（おとなしい子・成績が低い子など）を「使えない」と決めつけてしまう。
リーダー気質で発言力はあるが、ちょっと決めつけが強い。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

アカリ

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

慎重すぎて動けないタイプ

もう少し確認してから……って
思ってるうちに、いつも出だしが
遅れちゃうんだよね。

何かを始める前に、とにかく準備や確認を重ねてしまう。
完璧に整わないと一歩が出せず、結局タイミングを逃すことが多い。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

ケンタ

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

人と比べてしまうタイプ

あいつはあんなにできるのに、
自分は全然……って、また比べ
ちゃってるな。

テストの点数や部活の成績で、
つい周り比べて落ち込んでしま
う。
SNSで友達の頑張りをを見ると余
計にあせる。
明るく振る舞っているが、内心
は人と自分を測ってばかりい
る。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

ソラ

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

弱さを隠して強がるタイプ

大丈夫って言っとけば、誰も深く聞いてこないから楽なんだよな。

本当はしんどいことや悲しいことがあっても、いつも笑って「大丈夫」と言ってしまう。心配されるのが苦手で、つい話を逸らしてしまう。

— PERSONA CARD —

ペルソナカード



NAME

ユウタ

GRADE

中学3年生

PERSONALITY

みんなに合わせて自分を出さないタイプ

本当はこうしたいのに…言ったら空気変わるかな、って思うと結局黒板に書かれた多数意見にうなずいちゃう。

グループの中で本当はやりたいことがあるのに、「空気を悪くしたくない」と思って毎回意見を引っ込めてしまう。優しく協調性があるが、いつも我慢している。